

平成 2 7 年度第 1 回豊川市社会教育審議会
会議録

平成 2 7 年 4 月 2 1 日開催

豊川市教育委員会生涯学習課

平成 27 年 4 月 21 日（火） 午後 2 時 開議

出席委員

会 長	山 城 康 司
委 員	伊 奈 克 美
委 員	藤 原 公 保
委 員	穴 吹 富 貴 子
委 員	藤 井 孝 男
委 員	長 畑 仁 敏
委 員	柴 田 功 己
委 員	西 田 政 彦
委 員	権 田 静 司
委 員	片 桐 早 奈 美
委 員	伊 藤 暢 子
委 員	宇 井 宏 次

事 務 局

教育長	高 本 訓 久
教育部長	柴 谷 好 輝
教育委員会次長	赤 谷 雄 助
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司
スポーツ課課長補佐	戸 荏 憲 司
生涯学習課課長	前 田 清 彦
〃 課長補佐	尾 藤 哲 也
〃 生涯学習係長	中 村 和 宣

議事日程

- 1 第 3 次生涯学習推進計画策定に伴う市民アンケート実施計画（案）について

(午後 2 時 開会)

「事務局」 皆様、大変お忙しい中をご参集いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今より、平成 27 年度第 1 回目の社会教育審議会をはじめさせていただきます。それでは、はじめに山城会長よりご挨拶をお願いいたします。

「会長」 今日は、第 3 次生涯学習推進計画の策定に伴う市民アンケートの実施計画(案)について審議をお願いします。資料を見ますと、10 年前とは随分と変わって新しい内容になっていると思います。どうか、活発な意見をお願いしたいと思います。

「事務局」 続きまして、高本教育長よりご挨拶申し上げます。

「教育長」 この 4 月に花井前教育長に代わりまして、教育長を拝命いたしました高本と申します。どうかよろしくをお願いします。本年度は第 3 次生涯学習推進計画をまとめたただく大事な年度でございます。生涯学習は子どもから大人、高齢の方まで多くの市民の皆様提供しなければならない様々な事業があります。それぞれのお立場からご意見をいただき、28 年度から豊川市の新たな生涯学習事業がスタートできますようどうかよろしくお願いします。

「事務局」 それでは、これからの議事進行につきましては、豊川市社会教育審議会規則第 4 条に基づき、会長のもとで進めていただきたいと思います。なお、資料を事前に送付してありますが、お持ちでない方はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、山城会長よろしくをお願いいたします。

「会長」 それでは、第 3 次生涯学習推進計画の策定に伴う市民アンケートの実施計画(案)について事務局から説明をお願いいたします。

「事務局」 「第 3 次生涯学習推進計画の策定に伴う市民アンケートの実施計画(案)について」資料に基づき説明。

(生涯学習課長説明)

「会長」 ただいま説明のありました、「第 3 次生涯学習推進計画の策定に伴う市民アンケートの実施計画(案)」についてご意見、ご質問がありましたらをお願いします。

「委員」 アンケートの回収率が悪かった場合、これまで電話などで回答を促しているのでしょうか。

「生涯学習課長」 業者委託によりアンケートを郵送しますが、回収できないものについて回答を求めることはしていません。

「委員」 生涯学習に参加できない理由を問う設問について、障害があることで参加ができないという選択肢を入れると良いと思います。また、生涯学習の定義について一般の方にはまだ十分には理解されていません。豊川市における生涯学習の理念や、たとえば「学びが創るひと・まち・未来」といったスローガンが広まっていないと思います。

「生涯学習課長」 過去の推進計画では、障害のある方に関連した設問はありませんでしたが、これからは障害のある方の生涯学習活動について配慮をしていかなければならないと思います。スローガンについては、説明を加えるなどアンケート実施の際に説明したいと思います。

「委員」 設問の選択肢として、芸能・音楽に関するものの例示として、演奏、合唱、楽器演奏などとありますが、カラオケもこれにあてはまるのですか。

「生涯学習課長」 カラオケについては、趣味とも言えるし芸能・音楽の分野とも言える

のでどちらにイれるかは難しいと思います。

「委員」 カラオケは歌うだけなら趣味だろうし、習うのであれば芸能・音楽と言えるかもしれません。

「会長」 カラオケを趣味と思う方もいれば芸能・音楽と思う方もいるでしょうから、その方の判断によるということではよろしいかと思います。

「委員」 学びたい学習分野を問う設問の選択肢の例示として食育があっても良いと思います。料理とも関係があるし、健康にも関係があります。生活・実用に入れても良いし、健康作りに入れても良いと思います。また、どんな場所で生涯学習をしているかの設問の選択肢に勤務先である企業でスポーツをしている場合、生涯学習の活動場所として企業を入れても良いかと思います。民間の施設という選択肢とは区別したほうが良いかと思います。生涯学習をしていない理由として時間がないからという選択肢がありますが、生涯学習に使える時間がどのくらいあるかという設問も必要ではないでしょうか。10年前とは時代背景が違っているので時代に合った設問が良いかと思います。また、高校生では回答が少し難しい設問もあるかと思います。

「委員」 民間という表現については括弧書きで説明を入れたらどうでしょうか。

「生涯学習課長」 どんな方法で生涯学習をしているかの設問の選択肢について、民間の講座・教室にはスポーツを含むとか、団体・サークル活動には企業内活動も含むなどと括弧書きで説明すればわかりやすくなると思います。

「委員」 私のイメージでは民間といえば有料の施設であり、企業は社員のためにスポーツの機会を提供する立場にあるというイメージがあります。

「生涯学習課長」 行政、営利企業としての民間、企業やNPOなどを含めた団体のそれぞれが提供する講座等に市民がどのように参加しているかを整理すれば選択しやすくなると思いますので検討します。

「委員」 概ね事務局案でよろしいと思います。アンケートは回収率が悪いものだし、回答する市民の思いもそれぞれだと思います。市の考え方がしっかり示されていますのでこれで実施して良いと思います。

「委員」 アンケートの市民への依頼文に「豊川市の生涯学習の振興を図っていくための重要な調査です」とありますが、この部分は書体を変えるなどして強調すると良いと思います。また、設問の選択肢として、「わからない」というのがいくつかありますが「わからない」を選択する人はどういう気持ちで「わからない」を選択するのか疑問を感じました。

「委員」 関心がない、興味がないという気持ちからだと思います。

「委員」 先ほどから意見があるように、アンケートの対象者の幅が広すぎて回答に困るなど感じます。私は、陸上をやっていましたが、私にとってスポーツなのか趣味なのかとなると判断は難しいです。皇居をランニングする人もいれば競技としてやっている人もいますので判断はしにくいと思います。

「委員」 高校生や若い人はアンケートの設問の量が多いと回答するのがいやになってしまうのでアンケートの量については考慮して欲しいと思います。

「委員」 パソコンを使って生涯学習活動をする人が多くなっていますが、これに関する設問がないので入れたらどうかと思います。

「生涯学習課長」 豊橋市の推進計画ではパソコン・インターネットについて項目を設けています。本市でも項目を設ければ、自宅で生涯学習活動をしているのか、パソコン・インターネットで生涯学習活動をしているかなど、パソコン・インターネットとどのように関わっているのかわかりますので検討します。

「会長」 アンケートの回収率の話がありましたが、スポーツ振興計画改訂版策定のアンケートはどのように行われたか説明をお願いします。

「スポーツ課長補佐」 スポーツ振興計画のアンケート調査の回収率は約40パーセントでした。対象者2千人の無作為抽出で20歳以上の男女を対象としました。高齢の方ほど回収率は高かったです。若い人の意見が振興計画に反映できなくてもいけないので簡易な形ですが小学生を対象としたアンケートも実施しました。ひらがなを使ったりルビをふったり工夫をしました。

「会長」 委員の皆さんから多くの意見をいただきましたので、本日の意見を参考としながら、事務局で市民アンケートの実施について適切に進めてください。「第3次生涯学習推進計画」の策定につきましては、今年の2月の会議を皮切りに本年度末にかけ計6回の審議を積み重ねる予定です。今後も順次検討項目を変えて委員の皆様のご意見を伺う予定ですので、ご協力よろしくお願いします。これで、本日の会議を終了させていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。

(午後3時34分 閉会)